

イモリしんぶん

Vol. 52

発行日：2022年 11月 8日

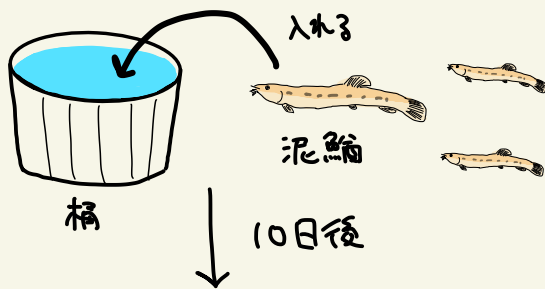
発行：朝日塾中等教育学校 理科

イモリの民俗学

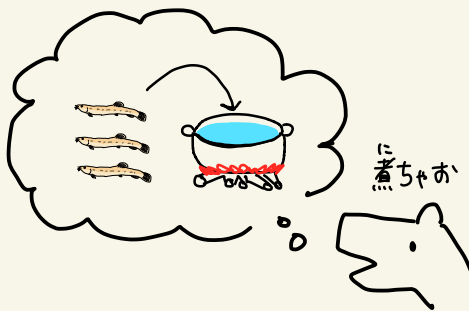
イモリは、昔から日本に生息している生物です。そのため、イモリにはいろんな伝承があります。今回のイモリしんぶんでは、そのいくつかを紹介したいと思います。

「泥鰌」 in 京都府京都市

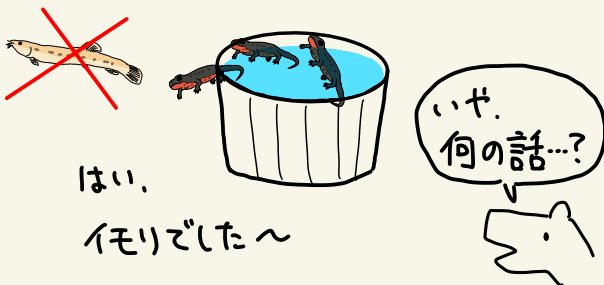
京のあるものが泥鰌を桶に入れ、10日ほど蓄えておいた。



ある日、桶の泥鰌を煮て食べてしまおうと考える。

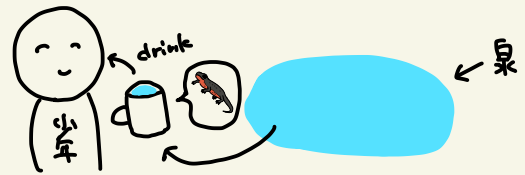


桶の泥鰌を見ると、全てイモリと化していた。

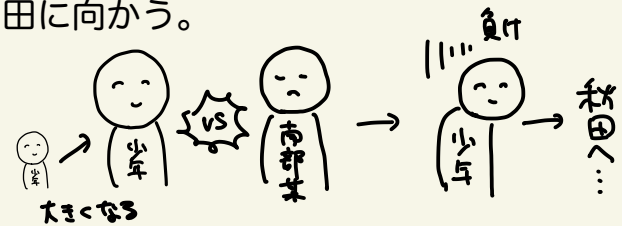


「巨人、イモリ」 in 岩手県

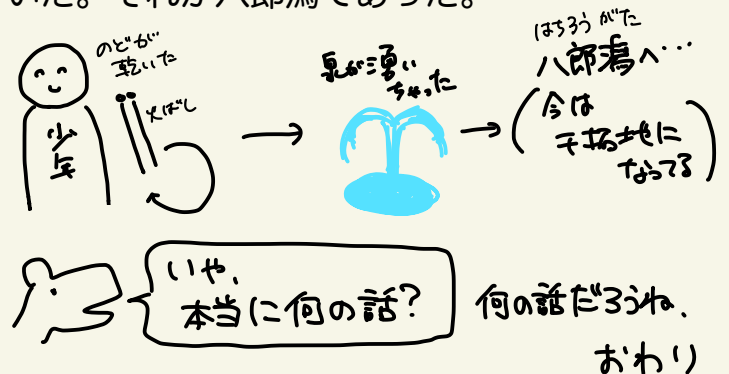
大河目村荒津平生まれの少年が、泉の水といっしょにイモリを飲む。



すると少年は巨人化し、せつかくなので南部某と力比べをしたけど負けたので、秋田に向かう。



秋田に向かった少年は、喉が渴いたので、火箸で炉をかき回すと、そこから泉が湧いた。それが八郎湯であった。



参考文献・Webサイト

妖怪データベース「泥鰌」 <https://www.nichibun.ac.jp/YoukaiCard/3090006.html> (2022年10月23日参照)

妖怪データベース「巨人、イモリ」 https://www.nichibun.ac.jp/YoukaiCard/1230669_004.html (2022年10月23日参照)

次回 イモリの民俗学2